

ドロップ・サイト・デイリー、6月8日：イスラエルがベイルートを攻撃、イランがイスラエルを攻撃、イスラエルがイランを攻撃

脇浜義明訳 *脚注は訳注

イランと停戦

***イランとイスラエルの戦闘：**イランとイスラエルは、4月8日に停戦宣言されて以来最も本格的な戦闘を行い、6月7日夜から8日明け方にかけて攻撃し合った。

・イスラエルが7日予告なしにベイルートの南郊外を爆撃したことへの報復として、イランはイスラエルの北部へ攻撃をおこなった。これは、停戦合意にはレバノンの停戦も含むというイランの要求を初めて実行に移したものだ。イスラエルの監視アカウント MB Insider によると、西岸地区北部の違法入植地の住宅街に砲弾が着弾し、家屋3棟が倒壊したが、死傷者の報告はない。

・イスラエルはイランの中部と西部を攻撃し、マフシャフル市の石油化学工場を攻撃した。フーズスターン州治安担当副長官は、この攻撃で工場の一部に被害が出たと述べた。イラン国営テレビは、イスファハン、カラジ、タブリーズ、テヘランでも爆発があったと報じた。・イランはこれに対し再び攻撃を行い、IRGC（革命防衛隊）は、イスラエルのネバティム空軍基地とテルノフ空軍基地を攻撃し、イスラエルの石油化学施設も攻撃したと主張した。

・イランの攻撃を受け、イスラエルは7日、ガザへ入るすべてのクロッシングを閉鎖し、人道支援物資の搬入を停止した。

***イラン、イスラエル攻撃の停止を宣言：**ファルス通信によれば、6月8日、イラン軍はイスラエルへの攻撃を終えることを宣言したが、イスラエルがレバノンを攻撃すれば「より厳しい」攻撃を行うと警告した — イスラエルが恒久的な軍の駐留を維持しようとしている南レバノンへの攻撃も含まれる。イスラエル軍筋は、8日、国営の軍ラジオ放送を通じて、イランへの攻撃の停止命令を受けたが、レバノンへの軍事行動は続けると言った。

***トランプ大統領、イスラエルとイランの双方に「停戦」を呼びかけ：**トランプ大統領は8日、「イスラエルとイランは即時停戦をしようとしている！」と主張した。彼は Truth Social への投稿で、「『和平』に関する最終交渉は、無知や愚かさが邪魔をしない条件で、順調に進んでいる。イラン封鎖は『最終合意』が成立するまで、効力を発揮する。事態は早く進展するはずだ」と書いた。彼はその前の投稿では、イスラエルとイランは「直ちに攻撃を停止しなければならない」と書いた。

・7日のフィナンシャル・タイムズ紙のインタビューでトランプ大統領は、ネタニヤフ首相は米国がイランと合意するいかなる協定も受け入れる以外に「選択肢」はないと述べた。「決定権を持っているのは私だ。すべては私が仕切る。ネタニヤフに采配権はない」と語った。

***イラン、イスラエルとの緊張激化に関して米政府を非難：**トランプ大統領がネタニヤフ首相にイランへの攻撃を抑えるように求めたという7日のメディア報道にもかかわらず、イスラエルは結局イランを攻撃した。イラン外務省のイスMAIL・バガイ報道官は、イスラエルのエスカレーションは米政府の責任だと非難した。「イスラエルが米国との連携なしに何らかの行動を起こすとは、誰にも考えられない」と、バガイは、8日、テヘランの記者会見で述べた。

***イラン高官、核合意は「実現不可能」と発言：**7日、イランの高官はドロップ・サイトのジェレミー・スカルヒルに対して、トランプ大統領との合意は現時点では「実現不可能」と語った。

・イラン高官によれば、合意案はトランプ大統領の机上に20日間近く置かれているが、トランプ大統領は「イスラエル・ロビーへの恐怖と、海上封鎖戦略が効果を発揮するだろう」という期待で動いている。イランはもはや彼の今の姿勢を受け入れも容認もしない」と付言した。

・同高官は、主たる争点は、イスラエルのレバノン攻撃継続と南レバノンの占領維持・拡大と、トランプ大統領が米銀行にある復興に使える資金の凍結を解除しないことの2点だと言った。

***アンサール・アッラー、紅海でイスラエルの関係する船舶への攻撃再開：**イエメンのアンサール・アッラーは8日、イスラエル攻撃を宣言し、紅海でイスラエルに関係する船舶への攻撃を再開すると発表した。ヤヒヤ・サリ准将がテレビで

その声明を発表した。アンサール・アッラーは以前にも紅海でイスラエル関連船舶を攻撃して、アデン湾と狭いバブ・エル・マンデブ海峡で国際貿易に混乱を引き起こしていた。

***米軍、ホルムズ海峡でイランのドローン2機を撃墜：**米中央軍は、6日に中東駐留米軍がホルムズ海峡でイランの片道攻撃型ドローン2機を迎撃・撃墜したと発表した。

***イラン、敵国米国とイスラエルの協力者3000人以上を訴追：**イランの司法当局は「敵国への協力」容疑で3,121人を訴追したと、報道官がイラン・メディアに語った。追訴された者は米国とイスラエルに協力した「祖国への裏切り者と傭兵」だという。ジャハングル報道官は、他に2,400人以上を逮捕し、拘留していると述べた。

レバノン

***死傷者数：**レバノン保健省によると、3月2日以降のイスラエル軍のレバノン攻撃で、少なくとも2,613人が死亡、11,072人が負傷した。

***イランとの交戦の後、イスラエルのレバノン攻撃は続く：**ベイルート攻撃の報復としてイランがイスラエル攻撃をしたが、その後もイスラエルのレバノン攻撃は続き、8日南レバノン全域を空爆した。ティルス、ザフラニ、ビント・ジュベイル地区の村や町 — アッサミヤ、ブルジュ・アッシャマリ、クファルホウナ、ヒルベルト、ドゥウエイル、アル・ヒライズ、カラウイアが爆撃された。

- ・ティルス地区の町アル・ヒライズへの空爆で1人が死亡し数人が負傷した。

- ・明け方にゼフタが数回空爆され、4人が死亡した。避難所が直撃された。

***イスラエル、ベイルート南部郊外を攻撃：**レバノン国営通信社によると、イスラエル軍は7日、ベイルート南部郊外のダヒエ地区のアパートを攻撃、少なくとも2人が死亡、11人が負傷した。

- ・イスラエル公共放送カンによれば、イスラエルは攻撃前に米国に通知したというが、米政府の高官2人がアクションの記者バラク・ラヴィドに、米政府はイスラエルに攻撃を承認していないと語った。

- ・イラン当局は前々からイスラエルにベイルート攻撃するなど警告していたが、イスラエルのベイルート攻撃に対し、イスラエル北部への攻撃の波で報復した。イランの核交渉チームの団長モハンマド・ガリバフ議長は、イスラエルのベイルート攻撃と現在進行中の米海軍による海上封鎖はレッドラインを超えていると警告し、イラン議会の国家安全保障・外交政策委員会報道官のエブラヒム・レザエイ議員は、「断固として痛ましい報復をする」と警告、「今夜、占領地の空を見よ」と言った。

***イスラエル、週末南レバノン攻撃を続ける：**

- ・クレイドル・メディアによると、イスラエルは6日、レバノンノサイダ地区の町サクサキエン住宅ビルを攻撃し、少なくとも6人が死亡、数人が負傷した。

- ・南レバノンのナバティエ県のビント・ジュベイル地区のヤテル警告地域に対しイスラエルは5回攻撃した。

- ・レバノン軍は6日、イスラエルの攻撃で准将、大尉、兵士の3人が死亡したことを確認した。また、6日にはイスラエルのドローン攻撃で救急隊員1人が死亡した。

***ヒズボラ、米国との直接接触を否定：**ヒズボラのレバノン国会議員アリ・モガダドは、最近トランプ示唆したヒズボラとの直接対話を否定し、「トランプ大統領であろうと他の誰であろうと、米国側との直接接触はない」と言った。モガダドは、すべての連絡はカタール、サウジアラビア、エジプトの仲介者を經由して行われていると言った。

***停戦中のイスラエルのレバノン攻撃は約3500回：**レバノンのナワフ・サラム首相によれば、トランプ大統領が4月16日に「停戦」を発表してから、イスラエルはレバノンを約3500回も空爆し、数百の建物を破壊した。彼は首相府声明を発し、イスラエルが南レバノンで、4月17日から6月7日の間に、3,491回の空爆、407回の家屋破壊、及び村全体を壊滅させる「破壊作戦」を6回行なったと言った。

***3月以降イスラエル軍が殺害したレバノン軍兵士は29人：**レバノンのポール・モルコス情報相によると、3月2日以降イスラエルの攻撃で死亡したレバノン軍兵士は少なくとも29人となった。他に、警察官3人、治安総局職員1人、国家治安機関職員13人も死亡したと、彼は付言した。

***南レバノンでイスラエル兵4人が負傷：**イスラエル軍は、7日朝、南レバノンでドローン攻撃で兵士4人が負傷したと発表した。イスラエルのチャンネル12は7日、2026年4月16日のレバノン停戦以降、イスラエル兵と将校の16人が死亡したと報じた。

パレスチナ

***死傷者数：**過去24時間のイスラエルのガザ回廊攻撃でパレスチナ人9人が死亡、43人が負傷した。2023年10月7日以降の死亡者総数は72,980人、負傷者総数は173,171人となった。ガザのパレスチナ保健省によると、いわゆる「停戦」初日の10月11日以降、イスラエルのガザ回廊攻撃で死亡したパレスチナ人は少なくとも970人、負傷者は3,063人である。瓦礫の下から回収した遺体は782体である。

***8日早朝のイスラエルのガザ攻撃で5人死亡：**Wafa 通信によると、8日夜明けのイスラエル軍のガザ回廊各地への攻撃で、少なくとも5人のパレスチナ人が死亡した。内訳は、ジャバリアへの攻撃で3人、ハーン・ユーニス西部の・アル・アッタール地区で人の集まりへの攻撃で2人が死亡、数人が負傷し、重傷者もいる。これとは別に、イスラエル軍はハーン・ユーニス北西部でイスラエル軍がパレスチナ人の車両をドローン攻撃し、車両の3人が負傷し、他にガザ市への空爆で数人のパレスチナ人が負傷したと報じられている。

***イスラエル、イランからの攻撃を受け、ガザ回廊の全面封鎖を再開：**イスラエルは、イランから報復攻撃を受けた後、8日、ガザ回廊への国境通路を全部閉め、人道支援物資の搬入を停止し、約200万人のガザ住民への物資搬入を遮断した。イスラエルは、2月下旬のイラン戦争勃発直後と、その他地域情勢の緊張が高まった時にも、同じようにガザを全面封鎖した。

***イスラエル軍の7日夜明けのガザ攻撃で少なくとも13人が死亡：**9日夜明けにイスラエル軍はガザ攻撃を始め、少なくとも13人が死亡、35人以上が負傷している。

・ハーン・ユーニス西部のアル・マワシ地区のアンナス交差点にある警官詰所が空爆され、5人が死亡、17人が負傷した。ガザ市西部のアル・ブラク学校付近で車両が攻撃され4人が死亡した。

***イスラエル海軍、ガザのデイル・アル・バラフ沿岸沖で10代の漁師を殺害：**Wafa 通信によると、7日、ガザ回廊中部のデイル・アル・バラフ沿岸沖で、イスラエル海軍は漁船を機関銃で攻撃し、16歳の漁師を殺害した。

・ガザ漁業組合によると、2023年10月以降、イスラエルによって殺害された漁師は少なくとも238人で、停戦開始後も20人以上が殺害または身柄拘束された。

・イスラエルは2023年10月7日以降、漁具のガザ搬入を禁止しており、以前は約5000人の漁師の生活を支えていた漁業は壊滅的打撃を受けている。被害総額は推定7000万ドル以上とされる。漁業インフラの90%以上が破壊された。

***6日のイスラエルの攻撃：**ガザ保健省によれば、6日、イスラエルの攻撃で10人が死亡。

・地元からの報告によれば、6日、ガザ市西の避難民テントへのイスラエルの空爆で、女性1人を含む7人が死亡、15人が負傷した。

・ガザ市東のアル・マハッタ地区でイスラエルの狙撃兵から子どもが頭部と腕を撃たれ、治療を受けている。

***報告では、イスラエルのガザ停戦違反行為は少なくとも3,189件：**2025年10月にエジプトのシャルム・エル・シェイフで停戦合意が成立して以降、イスラエルはガザ回廊で少なくとも3,189件の停戦違反行為を行っており、これは1日平均13件となる。これはドロップ・サイトが入手した停戦監視報告書に記載されたもの。報告書によると、停戦発効以来、合意された援助物資と商用トラックの輸送量のわずか36.3%、燃料に関しては合意された量の14.8%しか搬入されていない。ラファ・クロッシングの通過許可は、予定されていた人数の34.5%しか通過していない。

***西岸地区の町フワラを入植者暴徒が襲撃し、それにイスラエル兵も加わっている様子が撮影された：**タイムズ・オブ・イスラエル紙の7日の報道では、覆面をした入植者が占領地西岸地区のフワラの町でパレスチナ人男性を襲撃するのに、イスラエル兵も加わっている様子が撮影され、映像化された。この襲撃で少なくとも9人の住民が負傷した。入植者たちはピックアップ・トラックでやってきて、住民を殴打、投石、自動車や建物を破壊し、家畜を盗んだ。住民の1人は重傷を負

った。イスラエル軍はこの映像を事実と認め、兵士の行為を「重大である」として捜査を開始すると発表した。誰も逮捕していない。

***イスラエル軍、西岸地区へブロンを夜明けに襲撃し、パレスチナ人学者とその両親を逮捕：**イスラエル軍は8日夜明け、ヘブロン大学政治学部長のビラル・アッシュョバキ博士の自宅を襲い、逮捕した。また、両親のサミラ・アッシュョバキとマフムード・アッシュョバキも拘束した。アッシュョバキの妻ゼイン・アスカランは、ニュー・アラブ紙の取材で、午前2時頃、多数の兵士が自宅に押し入り、家宅捜査を行い、家財を破壊した後、夫を何処か分からない場所に連行したと語った。アッシュョバキは逮捕の数時間前にイタリアの学術交流プログラムから帰国したばかりであった。

***医薬品不足で西岸地区の医療体制が崩壊の危機：**オンライン・メディアのウルトラ・パレスチナの記事によれば、パレスチナ保健省が西岸地区で備蓄している必須医薬品の3分の1以上が完全に枯渇したと発表した。枯渇した医薬品の中にはがん患者の治療に用いられる97種類の薬品のうちの50種類が含まれる。保健省は、4000人以上の癌患者と数千人の腎臓透析患者が差し迫った危険に直面しており、物資不足のために約11,000件の手術が延期されると言っている。この危機は、イスラエルがパレスチナへの税金を止めている¹ことに加え、長年の物資不足と債務増大で悪化しており、医療品業者はパレスチナ自治政府から約13億5000シケル（約3億8,500万ドル）の未払金があると言っている。

***漏洩文書、イスラエルのドローンにAIの大規模監視機能が組み込まれていることが明らかに：**ハアレッツ紙が入手したイスラエル軍の内部文書によると、ガザ回廊とレバノンの上空で活動しているイスラエル国防軍のドローン機部隊に、人工頭脳（AI）と大規模監視機能が組み込まれていることが明らかになった。文書によると、エルビット・システム社が制作したイスラエル製ドローン「ヘルメス450」と「ヘルメス900」は、2023年10月以降、24時間体制で飛行しており、標的を自動的探知、分類、追跡し、情報を指揮センター、パイロット、地上部隊に提供するシステムを採用している。

米国ニュース

***トランプ大統領、利上げ期待論に反論：**トランプ大統領は、予想を超えた5月の雇用統計により利上げにかかる市場感情が高まっていることに反し、連準備制度理事会（FRB）に、利上げを行うのは間違いだと釘を刺した。彼はNBCの「ミート・ザ・プレス」で、「金利を上げる理由がない」と述べ、政策金利の引き上げは「誤れる判断」で、むしろ引き下げるべきだと主張した。

***米国防総省、イスラエルのスパイ活動の脅威レベルを「危機的」レベルに引き上げ：**6日のニューヨークタイムズ紙によると、国防情報局（DIA）は、イスラエル駐在の米軍関係者が自分たちの携帯電話にスパイ・ウェアを発見したことを受け、イスラエルに対する防諜脅威レベルを最高レベルの「危機的」に引き上げた。これにより、米国の同盟国イスラエルは、一部の敵対国よりも高いレベルに位置づけられた。盗聴の標的になった米高官の中には、イラン交渉担当首席代表ステイヴン・ウィトコフ、国防総省の政策担当トップのエルブリッジ・コルビー、国防総省の中東政策担当上級ディレクターのマイケル・ディミノ4世が含まれる。DIAの報告書には、2021年にイスラエル軍将校がDIA本部に盗聴器を仕掛けたこと、また昨年、イスラエルの国内治安機関のシン・ベトが米のシークレット・サービスの車両に盗聴器を仕掛けようとしたことなどが詳述されている。

***トランプ大統領、インサイダー取引で有罪になったインディアナ州選出元下院議員を恩赦：**トランプ大統領は、2023年に証券詐欺4件で有罪判決を受け、22か月の禁固刑を言い渡されたインディアナ州選出の共和党の元下院議員のステイヴン・E・バイヤーを恩赦した。バイヤーは非公開情報に基づいて株式取引を行っていたことが判明した。T-Mobileの幹部からT-Mobileのスプリント買収計画を知り、スプリント株を56万8000ドル分購入して10万7000ドル以上の利益を得たほか、クライアントであるGuidehouseからNavigantによる買収計画を知り、Navigant株を100万ドル以上購入して22万7000ドル以上の利益を得た。

***牛肉価格が最高値を記録する中、テキサスの牛に肉食性寄生虫の脅威：**幼虫が生きた肉を食害し、治療しなければ家畜を死に至らしめると言われるハエ、「新世界スクリューワーム」が、テキサス州南部のメキシコ国境付近で2頭の子牛か

¹ イスラエルが税金を徴収してパレスチナ自治政府に送る仕組みになっている。

ら発見され、すでに高価格で売れないために苦しんでいる農業関係者や牛肉業界の指導者たちを脅かしている。農業省の試算によると、もし大規模に発生すればテキサス経済に18億ドルの損失をもたらす、農家は年間7億3200万ドルの損失になる。生殖能力のないオスのハエを放出して害虫個体数を減らす主要な対策はボトルネックになっている。北米で唯一の不妊ハエの生産施設はパナマにあり、週に約1億匹しか生産できない。テキサスで必要としているのは4~5億匹である。テキサス州に新設される施設は2027年11月までかかる。

***トランプ大統領、厳重な警備の中で、NBA ファイナル第3戦を観戦：**今日8日夜にニューヨーク市マディソン・スクエア・ガーデンで開催されるNBA ファイナル第3戦を、トランプ大統領は厳重な警備を敷いて観戦する予定である。チケット保有者は、試合開始の2時間前に、手荷物を持たずに会場へ来るように指示されている。ニューヨーク市のマムダニ市長も観戦予定である。会場の外で予定されていたテレビ観戦パーティは、安全上の理由で中止となった。ニックスは1999年以来初めてのファイナル出場を果たし、サンアントニオ・スパーズとの7戦制シリーズで2勝0敗でリードしている。ニックスは53年間NBA ナショナル・チャンピオンシップで優勝したことがない。ところで、トム・ラントス人権委員会の民主党共同委員長であるジム・マクガバン下院議員は、今週末、NBA に対し、スーダン紛争への加担をやめることを求めるビデオキャンペーンを行い、「ファンは、自分たちが楽しんでいるスポーツが人道に対する罪を助長していることを知るべきだ。NBA はUAE に投資しており。UAE はスーダンの残虐行為に投資している」と言った。

その他の国際ニュース

***スーダン軍、北コルドファン州の市場にドローン攻撃、少なくとも13人の民間人が死亡：**スーダン軍のドローンが6日の朝、北コルドファン州ハムラット・アッシュエイフのサブ・ズアイマ市場を攻撃し、民間人11人が死亡し、数十人が負傷した。スーダン・トリビューン紙によると、その24時間足らず前にも、同じ地域の村や民間車両への攻撃があり、少なくとも2人が死亡した。即応支援部隊 (RSF)が支配するハムラット・アッシュエイフは、北のコルドファン州とダルフル地方を結ぶ重要な戦略的交差点に位置し、絶えずスーダン軍 (SAF)の空爆を受けている。

・ダルフルの被害者支援団体によると、6日は、即応支援部隊のドローンが北コルドファン州の主要都市エル・オベイドのガソリンスタンドなど数か所を攻撃した。

***ロシア、チェルノブイリ使用済み核燃料施設を攻撃：**国際原子力機関 (IAEA)によると、ロシア軍は7日、ウクライナのチェルノブイリ原子力発電所近くの使用済み核燃料貯蔵施設を攻撃し、大量の核物質が貯蔵されている場所から僅か数メートル離れた燃料受け入れ棟に大きな被害を与えたという。IAEAはこのことを、ウクライナから報告を受けたという。ゼレンスキー大統領はこの攻撃を「極めて卑劣」と表現し、ロシアがシャヘッド・ドローンを使ったと非難した。ウクライナ国営原子力企業エネルゴアトムは、攻撃された時建物内には使用済み核燃料は貯蔵されておらず、火災はすぐ消火され、負傷者もいないと発表した。放射線量は正常範囲である。

・他の地域では、ロシア軍の7日の攻撃で少なくとも5人が死亡した。ザポリージャのバス停で誘導爆弾で2人が死亡、ドニプロペトロウシクではドローン攻撃と空爆により2人が死亡した。

***イスラエル軍、シリアの民間人5人を拉致：**シリアにおけるイスラエルの人権侵害を記録するシジル・センターによると、イスラエル軍は7日の早朝、シリアのクネイトラ県へ2回侵攻し、未成年2人を含む民間人5人を拉致した。5人のうち4人はクネイトラ県北部のジュバタ・アル・ハシャブ村の人で、1人が同県南部のサイダ・アル・ハヌート村の人である。

***ペルー大統領決選投票、迅速集計では同数という接戦で、勝敗の行方は分からない：**イブソス・ペルーが行なった100%迅速集計では、左派のロベルト・サンチェス候補は50.3%の得票率で、保守派のケイコ・フジモリ候補の49.7%を上回っており、世論調査の誤算範囲である+-1.9%以内で、依然として接戦で勝敗は決することはできない。

***ボリビア議会、大統領にデモ隊へ軍隊を投入する権限を付与した：**ボリビア下院は7日、ロドリゴ・パス大統領に反政府デモ隊が設置したバリケードを撤去するために軍隊を投入する権限を付与する法律を可決した。この法律は兵士がデモ隊に武力を行使することを認め、兵士の行動が法に違反するという反証がない限り合法とみなす「推定合法性」を付与する。数週間のデモは、インフレの高騰、低賃金、燃料補助金の廃止に抗議し、パス大統領に辞任を求めている。

***ナイジェリア軍、ボルノ州でボコ・ハラムに拉致された360人を救出：**ナイジェリア軍は、今年初めにナイジェリア北東部でボコ・ハラムに拉致された360人の解放に成功したと7日に発表した。ボルノ州軍はボルノ州のマンダラ山脈で救出作戦を展開した。ハルナ・サニ軍報道官によると、険しい地形と劣悪な監禁環境のため、乳児2人が死亡した。地元の青年指導者とボルノ州選出の上院議員はAFP通信の取材で、解放を確認したが、解放された人数は400人以上だったと述べた。ボコ・ハラムは数百万ナイラを身代金として要求していた。

***習近平国家主席、7年ぶりに北朝鮮訪問：**中国の習近平国家主席は7日、2019年以来初めて北朝鮮を訪問し、金正恩委員長と会談した。北朝鮮とロシアの軍事協力が深まる中での会談であった。北朝鮮メディアは今回の訪問を両国の「揺るぎない友好」の証しと報じた。

***フィリピン南部でマグニチュード7.8の地震で32人死亡：**8日、フィリピン南部ミンダナオ島沖で強い地震が発生、少なくとも32人が死亡した。東南アジアの一部地域では津波警報が発令された。当局は、広範囲にわたる被害、停電、多くの余震を報告した。後に津波警報は解除された。

***パシニャン首相、アルメニア総選挙で勝利宣言：**アルメニアのニコル・パシニャン現首相は8日早朝、7日の議会選挙で自分の与党「市民契約党」が約49%の得票率を獲得したと言う暫定結果を受け、勝利宣言をおこなった。首相はこの結果を「歴史的勝利」と呼んだが、野党関係者は、選挙期間中に圧力や逮捕があったと主張している。パシニャン首相は、ナゴルノ・カラバフ地域をアゼルバイジャンの侵攻で失い、これに対してロシアからの支援を得られなかったことから、ロシアとの連携の離脱と西側諸国との関係強化を公約に掲げて選挙戦を行なった。